

## 第18回 緩和ケア市民公開講座

## アンケート結果

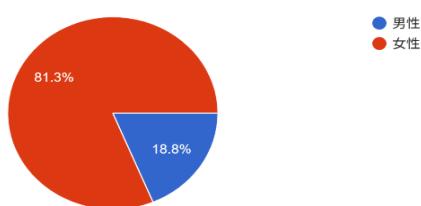
### がんと共に、楽しく生きる

令和7年 11月 15日(土) 三川町 いろり火の里「なの花ホール」 13時30分～15時

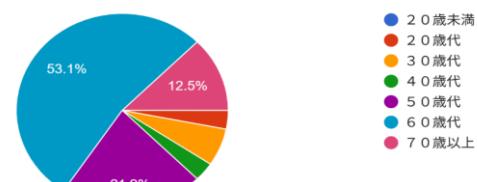
- 「庄内プロジェクトについて」  
鶴岡市立庄内病院 院長 鈴木 聰 氏
- 講 演：「がんと共に、楽しく生きる」  
講師 歌手 麻倉 未稀 氏

《参加人数：131名 アンケート協力：32名》

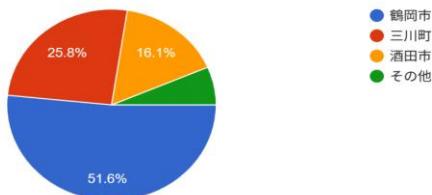
あなたご自身について（性別）  
32件の回答



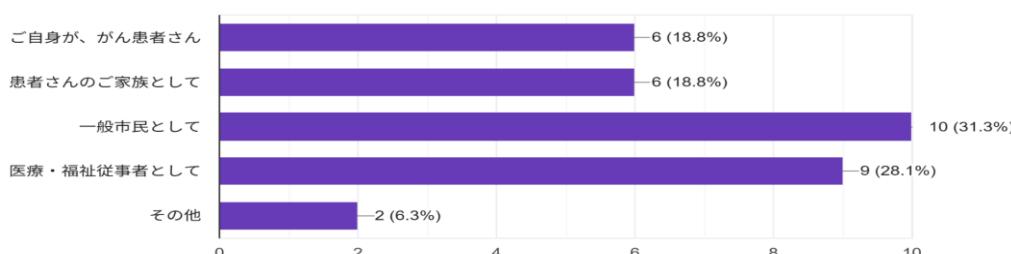
あなたご自身について（年齢）  
32件の回答



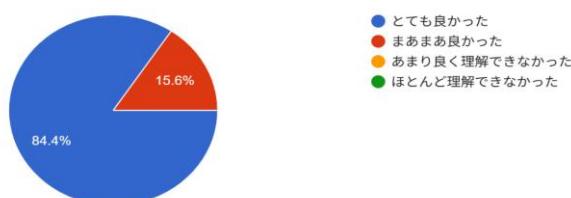
あなたのお住まいについて  
31件の回答



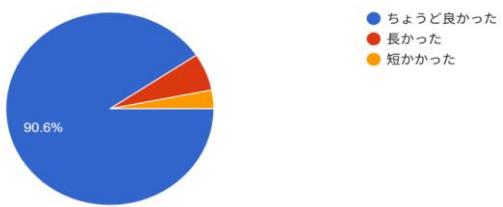
あなたのお立場について教えてください。  
32件の回答



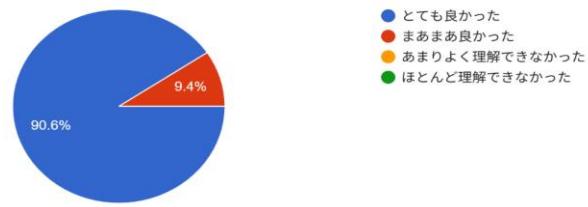
「庄内プロジェクトについて」の内容はいかがでしたか  
32件の回答



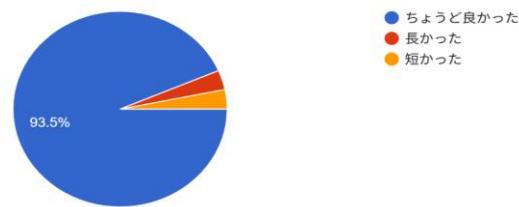
「庄内プロジェクトについて」の時間の長さはいかがでしたか  
32件の回答



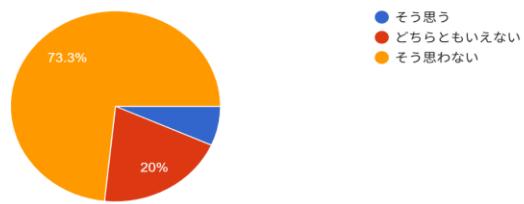
麻倉さんの講演の内容はいかがでしたか  
32件の回答



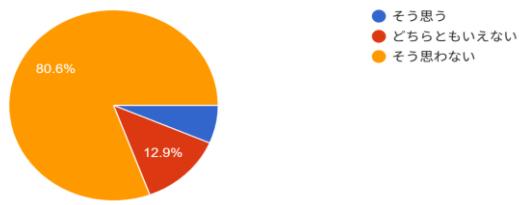
麻倉さんの講演時間の長さはいかがでしたか  
31件の回答



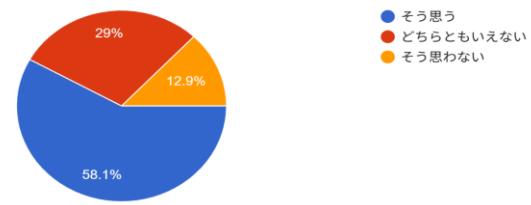
緩和ケアや在宅療について、あなたのイメージに...す ① がんになっても病名を告知されたくない  
30件の回答



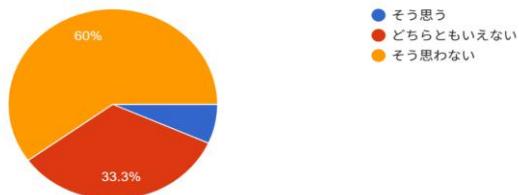
② 緩和ケアとは、末期の患者さんだけが受ける医療・ケアである  
31件の回答



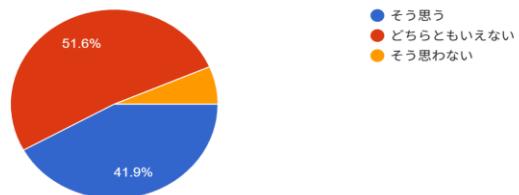
③ 緩和ケアとは、化学療法や放射線治療など、がんに対する治療と一緒に行うものである  
31件の回答



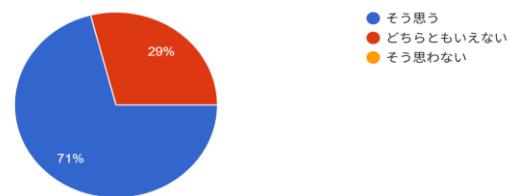
④ 医療用麻薬を使用すると中毒になる  
30 件の回答



⑤ あなたががんだったら、亡くなる最後は自宅で過ごしたいと思いますか  
31 件の回答



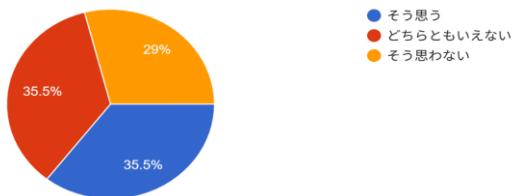
⑥ 自宅で療養することは、介護してくれる家族に負担が大きい  
31 件の回答



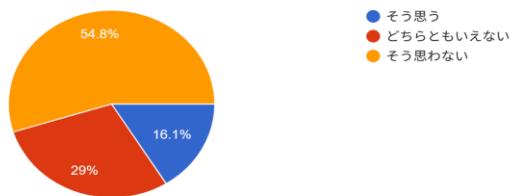
⑦ 自宅では、症状が急に悪くなったときの対応が不安である  
30 件の回答



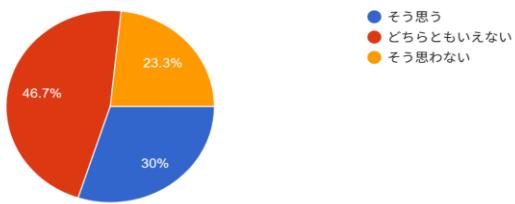
⑧ 自宅では、十分に苦痛を和らげることができない  
31 件の回答



⑨ 自宅で最期を看取ることは、家族が十分な医療を与えていないことになると世間から思われる  
31 件の回答



⑩ この地域では、がんになんでも安心して過ごせると思う  
30件の回答



### 《ご意見・ご要望・ご感想等の自由記述》

- ❖ がん患者さんの経験談は、とてもためになりました。歌も聴けて感動しました。ありがとうございます。
- ❖ 30年前乳癌になり手術しないで毎年検診でマンモ検診を受けており、結果を宮城大学医薬科に報告しています。
- ❖ また機会があればよろしくお願ひします。
- ❖ 庄内プロジェクトの活動を知つてもらえるように、自治体がもっと広報活動をしていった方が良いと思います。
- ❖ 生歌を聴けて、大感激でした
- ❖ 認知症などをテーマにしてお願ひしたい。
- ❖ 芸能人の方の話だと聞きに来たい。
- ❖ 今回のテーマは日頃同じ立場の人と触れ合う機会がなかったので、私も麻倉さんと偶然に同じ8年前に乳がんの手術をしている身としては共感できるお話を沢山聞けて、そうそう、同じ同じと心の中で思いながら聞かせてもらいました。特に私もホルモン剤治療の真っ最中なので、副作用が麻倉さんとドンピシャで、物忘れもなるほどと納得してしまいました。ただ地元の人間なので、あの場で手を挙げてそのことを麻倉さんと共有できなかつたことが残念でした。その後、座談会でもあれば、麻倉さんに直接尋ねてみたいこと色々あつたなあと思いながら帰路につきました。
- そんな思いだったので、アカペラで歌つて下さった「HERO」には思はず、涙が溢れたのは私だけだったでしょうか!!?
- 今回の企画に参加できること、とても嬉しかったです、生きる希望、励みになります、ありがとうございます。
- ❖ 一人一人事情は違うと思う。じっくりとその相談を行える体制であつてほしい。
- ❖ 麻倉未稀さんの生のお話しが聞けてとても良かったです。
- ❖ 今後自分の身になつたら今日の講演を活かします。ありがとうございます。
- ❖ 麻倉未稀さんのご自身に体験に基づいた貴重な講話でした。病気の発見に到る経過、健診の受診状況やごじしん当時状況やハイグレードとの関係や親族の状況も丁寧に紹介していただきました。また、病との向き合い方や診療の経過も身体的な負担を考慮した選択や最終的に診療を受ける医療機関を決めた理由も分かりやすく講話していただきました。麻倉未稀さんは自身の経験を生かし地域貢献する姿勢に感銘しました。歌があつたから強い気持ちをもつて現在に至っていることが、サプリズで披露してくれた歌唱を聞くこと認識しました。



～ご協力ありがとうございました～  
南庄内緩和ケア推進協議会